



祝祭日には国旗を掲げましょう。

大阪天満宮社報 第72号

てんまてんじん



添
風
進
上

平成二十九年 盛夏

神社本序定例表彰 4
寺井種伯宮司、「長老」に 4
八代市史談会 8
西山宗因を訪ねて 9
全国天満宮梅風会第五十一回総会 8
南寺方 地車の宮入 10
旧川崎東照宮神輿の展示 12
12 頁



大將軍社御由緒石碑の奉納建碑

四月二十六日、当宮の摂社である大將軍社の前に、その御由緒を記した石碑が、氏子の保坂幸彦氏によつて奉納建立されました。

「森」と呼ばれました。

から、地主神・摂社としてお祀りされています。その由縁から、本殿の歳旦祭に先立つて、このお社の祭儀「大将軍社拂曉祭」が斎行されるしきたりがあります。

従来、このお社の由緒書は皇紀二千六百年（昭和十五年）十一月十日

な場面でご協力を頂いております
保坂氏から御芳志のお申し出があり
今回の御奉納となりました。奉納日
は御例祭日である三月二十五日とさ
せて頂きました。

卷之三



福永さくまとの出会い

天神祭にもご奉仕頂いている伴ピート・アール株式会社の伴一郎氏の引き合
わせによつて、近江八幡和船観光協同組合の福永武理事長とご縁ができる
まゝ。二つ、最も多くつて、(三)

天神祭には同組合から茅ノ輪の御用材として近江八幡の葦（よし）を御奉納頂くようお話をまとめて準備を進めておりましたが、その年の五月、福永武様は急逝されてしましました。

ご本人がいないのでは実現は困難かと思われましたが、御子息である福永文昭氏から「父の遺志を継いで奉納を実現したい」とのお申し出があつて、平成十一年七月に、青葦奉納がはじまつたのです。

この時は、和船を大阪まで陸送して大川に降ろし、川崎橋から天神橋まで、手漕ぎの和船で葦を運び、天神橋から当宮まで、行列を仕立て奉納道中を行いました。翌年からは自動車輸送で奉納して頂くことになりました。

▼今年平成二十九年は



当曰は、早朝から出迎えの神職が近江八幡市の豊年橋にある組合の乗船場へ出向し、そこにある「蘆ノ大龍神」の神棚で奉告祭を



盛岡淑郎理事長の歓迎の御挨拶に統
いて、葦が使われている雅楽の演奏
(舞楽　迦陵頻)を行いました。

この後、一行は天神橋へ戻つて上
陸し、雅楽の道楽を奏しながら、天
神橋筋商店街を青葦を捧げて行列し
大阪天満宮本殿へ参着しました。

本殿では青葦奉納式が斎行され舞
楽迦陵頻も奉納されました。無事
奉納されたところで、当宮の寺井種
伯宮司が御礼の言葉を申し上げ、感
謝状が贈呈されました。

大阪で平成十四年に「世界水フオーラム」が開催されることになりました。これの関連行事として輦奉納を行なったので、道頓堀川を会場として舞台船を設えて、雅楽の演舞などを行なった、ミシシ

た。和船二隻と、当日早朝から組合の船頭さん達が刈り取った青葦二十束余りを積み込んだ二十ントラックは、福永さんと船頭さん10名とともに大阪へ出発しました。

大阪に着いて大川の毛馬橋下流付近で和船を降ろし、伴ピーアール様のモーターボート『波切天神Ⅱ』に曳航されて、口之島の三神橋へ向い

神社本庁定例表彰

「長老」に

大阪府大阪市北区天神橋
大阪天満宮 寺井種伯

頸功 神社本庁

「洵にありがたいこと」と語り、人との出会いに恵まれ、自身は次男であり、当初神職の道は全く想定していなかったが、神職の道に進んだのは「偶然」ではなく、先祖からの示唆に支えられてきた「必然」だったのだろうと回顧しました。

去る二月三日、神社本庁の設立記念日に合わせ、定例表彰の被表彰者を発表され、神職や総代など二百七十一人が表彰の栄に浴することとなりました。

その中で、当宮寺井宮司は、表彰規程第二条第三号（注）により、神

社本庁より「長老」の称号が贈られ、その表彰式が池田厚子神社本庁総裁臨席のもと、東京・港区の明治記念館で五月二十四日に開催されました。午後一時三〇分の開会後、開会儀式に続き池田厚子総裁が式辞に立たれ、関係者のさらなる精励を願う旨を述べられました。

次に表彰委員会委員長の田中恒清（一説に九十歳）の異名として載せられました。かつて昭和天皇が吉田茂の米寿の祝いに鳩杖を下賜された。宮中の儀式とされてしましました。

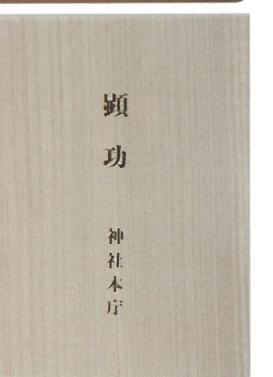
されたそうです。この風習は日本にも伝わり、「拾芥抄」には八十歳（一説に九十歳）の異名として載せられています。かつて昭和天皇が吉田茂の米寿の祝いに鳩杖を下賜されたなど、宮中の儀式とされてしまいました。

その後、来賓の鷹司尚武神宮大宮司、全国神社総代会代表が祝辞を述べられ、受彰者代表謝辞を寺井宮司が述べ、「この受彰を機にさらに決意を新たにし、神社神道の護持発展のため、一層の努力を致す覚悟」と語りました。

表彰式後、同地で開催された、大阪府神社庁主催の祝賀会に出席し、同じく表彰を受けられた大阪の方々と受彰の喜びを分かち合いました。

また、寺井宮司はこの度の受彰に際して神社新報社より取材を受け、

まず、長老の称号を受けたことに



盆梅展を拝観して

富士精版印刷株 会長 石川 忠

毎年通っている大阪天満宮の「盆梅と盆石展」に今年も訪れた。同行者は業界新聞記者二人で、記事や写真でいつもお世話になっている。境内で待ち合わせをして会場へ。受付の若い男性は、僕の孫の友人であり、僕たち三人にお茶とお菓子を勧めてくれた。境内の北側で、近くの梅を眺めながら一服して頂いた。その後、菅公（菅原道真公）の古い軸の前で一礼をし、句帳を手に盆梅と盆石を観て回った。盆石は和歌山、盆梅は奈良の名札が付いていた。小雨のために来場者数は少ない。梅の香りを貰でつつ盆梅の並ぶ三部屋を歩いた。

大阪天満宮には、いろいろな思い出がある。僕の四人の孫の七五三参りは、全て天満宮にてお願いをした。

家内と娘二人と一緒に思い出できる。

また、一九七九年に先代の寺井宮

司と大阪回生病院の菊地先生が「大

阪天満ライオンズクラブ」を創設され、僕もメンバーになった。ある年

の天神祭では、メンバー全員が紫の

衣装で一字笠を被り、老松町を西

へ歩いた。あの日、一緒に歩いたク

ラブのメンバーもほとんど鬼籍に入

られて、寺井宮司にも菊地先生にも、もうお会いすることは出来ない。

他には、日本画家の森本有泉先生もライオンズクラブのメンバーだつた。森本先生は、日本美術院・院友であり、天満宮に日本画を奉納された。絵は今も会館の二階に飾られている。

伊予生まれの石川忠は元気だが、九十一歳となつた。来年も天神様の梅を観たいと思っている。

紅梅の枝垂れの花に小雨かな

もてなしの盆梅餅や緋毛氈

煤けたる菅公の軸盆梅展

ただし

【注】表彰規程第二条第三号
徳望衆に秀で人格識見共
に勝れ多年奉仕神社の經營
並びに神徳の發揚に力を效
し老齢に達する迄神社界の
先覺として終始一貫斯道の
為に貢献し功績抜群なる者



神社本庁表彰式 大阪府神社庁 平成29年5月24日



役員改定

五月二十二日、天満宮会館孔雀の間において天神祭渡御行事保存協賛会の委員総会が開催され、会則の「役員規定」を一部改定し、新しく名譽会長が設置されました。名譽会長には、これまで会長であった大阪商工議所会頭の尾崎裕様に就任頂き、会長には当宮の寺井種伯宮司が就任しました。

てんまてんじん 第72号

は、これまで会長であった大阪商工議所会頭の尾崎裕様に就任頂き、会長には当宮の寺井種伯宮司が就任しました。

会長が設置されました。名譽会長には、これまで会長であった大阪商工議所会頭の尾崎裕様に就任頂き、会長には当宮の寺井種伯宮司が就任しました。

暴力団排除規制院決議式
委員総会に続いて、天神祭関係三団体である大阪天満宮・天神祭渡御行事保存協賛会・大阪天満宮講社連合会が、それぞれに暴力団排除規定を制定したことを受け、これを内外に周知するため、天神祭関係警察署をはじめ暴力団排除活動の関係団体が出席して決議式を行いました。



これは平成三年に国(法律)として制定したことを受けて、これを内外に周知するため、天神祭関係警察署をはじめ暴力団排除活動の関係団体が出席して決議式を行いました。

「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第七七号が制定され、大阪府としては平成二十二年に「大阪府暴力団排除条例」大阪府条例第五十八号が制定されたことから、昨年平成二十八年七月七日に締結された天神祭渡御行事保存協賛会、大阪天満宮講社連合会、大阪天満宮の三者による当運動に関する申し合わせを実行したもので。

**決 議 文**

日本三大祭の一つである天神祭を円滑に斎行するため、大阪府暴力団排除条例の基本理念に則り、次の事項について決議する。

- 一、暴力団に資金を提供しない。
- 一、暴力団から金品を受け取らない。
- 一、暴力団から便宜の供与を受けない。
- 一、暴力団に資金を提供しない。
- 一、暴力団から金品を受け取らない。
- 一、暴力団から便宜の供与を受けない。

以上、天神祭を安全・安心な祭礼にするため決議し宣言します。
一、全ての行事に暴力団員及び暴力行為をするおそれのある者を参考させない。

平成二十九年五月二十二日

大阪天満宮
天神祭渡御行事保存協賛会
大阪天満宮講社連合会
公益財団法人大阪府暴力追放
大阪弁護士会民事介入暴力及び弁護士業務妨害対策委員会
大阪府天満警察署
大阪府東警察署
推進センター



大阪府曾根崎警察署
大阪府都島警察署
大阪府大淀警察署

第四課

てんまてんじん 第72号

第三回
大阪天満宮法楽連歌
当宮では、江戸時代初期には連歌師の西山宗因を連歌所の宗匠として迎えるなどして、古くから法楽連歌が盛んに行われておりましたが(宗因については、本号九頁参照)、近代に入ると、戦乱などの影響もあり、法楽連歌は殆ど行われなくなっています。

しかし、平成二十七年六月一日、当宮の参考殿大広間におりまして、天満宮法楽連歌が久方ぶりに開催されました。明治三十五年の菅公一千年祭以来、約百十年ぶりになる大変有意義な会でございました。

その後、毎年当宮法楽連歌は続けられ、本年六月七日には、第三回目の法楽連歌を開くことが出来ました。

感謝の気持ちとともに、ここにご紹介いたします。

初折表

掛け声飛んで繁く夏足袋

今枝清實

谷直樹

拂衣の音の遠ひびきする

さじ投げて去る福沢諭吉

奥山満里子

夜寒に逃げる宝石泥棒

るみ子

峯登ればばっかりと雲 新蕎麦すする広縁の父	高城修三	目のかぎり姫街道を行き行きて 峰登ればばっかりと雲	廣青隴
ひそやかに棚田に映る昼の月 露分けて昔富山の薬売り	岩佐水澄子	花吹雪地蔵と昼餉分かちあう 美浜の海にかすむざざなみ	城貴代美
小堀由紀江	杉田繁治	目に見えぬ恐怖をかかえ春の暮 雷鳴ひびき屋根かける鶴	初折裏
山田順子	高城修三	中川るみ子	名残表
田中哲哉	高城修三	君の葬儀に帰るふるさと 南無南無と蔀戸もるるおみな声	名残裏
村上順夫	岡部千代	霞が闇のうららかな日々 教科書通りいかぬが世間	名残裏
田中哲哉	高城修三	官僚は忖度するが仕事なり 霞が闇のうららかな日々	名残裏
岡部千代	高城修三	母からの見合写真をふところに 君の葬儀に帰るふるさと	名残裏
高城修三	高城修三	教科書通りいかぬが世間 霞が闇のうららかな日々	名残裏
高城修三	高城修三	万物すべてうるわしき春 赤飯に老いのそくさい祝う朝	名残裏
高城修三	高城修三	上羽利枝	名残裏
高城修三	高城修三	満里子	名残裏
高城修三	高城修三	森幸一	名残裏
高城修三	高城修三	貴代美	名残裏
高城修三	高城修三	他連中	名残裏
高城修三	高城修三	家村豊次	名残裏
高城修三	高城修三	今野和代	名残裏
高城修三	高城修三	ハツ尾美佐子	名残裏
高城修三	高城修三	上羽利枝	名残裏
高城修三	高城修三	由紀江	名残裏
高城修三	高城修三	建夫	名残裏
高城修三	高城修三		名残裏



全国天満宮梅風会 第五十一回総会

「梅風会」とは、菅原道真公をお祀りしている神社の集まりで、全国で約千二百社が加盟しています。

六月二十日（火）・二十一日（水）に天満天神繁昌亭にて、全国天満宮梅風会第五十一回総会を大阪梅風会の当番として開催致しました。

総会に先立ち、正午より大阪天満宮において正式参拝をし、引き続き

宮会に先立ち、正午より大阪天満宮において正式参拝をし、引き続き

天満天神七夕祭に 鰐の奉納



平成元年に、当宮は境内北側にある星合池で、七夕の行事を始めました。平成七年七月七日と

い、七が三つ並んだ日を期して、江戸時代から途絶えていた本殿の祭儀を再興し、神賑行事「星愛七夕まつり」も開催するなど、年々と盛大になつてきました。そして、今年は特に珍しい奉納がありました。

天神祭のお祭り料理といえば、鰐、白天（魚のすり身の揚げ物）、胡瓜、ざくざく（酢の物）ですが、食文化の欧米化とともに、これも知る人が少なくなりつつあります。

徳島県の鰐は古くから関西一円で食されていたのですが、これもあまり知られていないのが現状です。そこで、徳島県では、「徳島の活鰐ブランド確立対策協議会」を設立して、販売促進活動を進めておられます。

例年八月には、天神橋筋商店街と當宮境内で盛大な「阿波踊り」が奉



大阪天満宮北側にある、上方落語唯一の定席である天満天神繁昌亭で総会が行われました。

総会では同会会长である太宰府天満宮の西高辻信良宮司の挨拶があり、二十回表彰、十回表彰がありました。

二十回表彰されたのは、水田天満宮の宮原恭盛宮司、天満神社の前田伏見宮司夫人、今川天満宮の河谷圭子

宮司夫人でした。

続いて、来賓として大阪府神社庁長である杭全神社の藤江正謹宮司の祝辞がありました。その後、議事が議長選出・平成二十八年度経過及び収支会計報告・梅風会企画運営委員会報告・次年度開催地の件・次年度当番地代表挨拶が滞りなく行われました。

総会に引き続き、落語家の桂春之輔師匠、笑福亭鶴笑師匠による落語を鑑賞して頂きました。

その後、バスに分乗し、懇親会会場である、ホテルニューアワジに移動しました。

その後、全国天満宮梅風会副会長の橋重十九宮司の御発声により乾杯があり、会員相互の交友を深め、新たな縁を結ぶ一夜となりました。最後は、大阪梅風会顧問、服部天神宮の加藤芳哉宮司の挨拶にて懇親会は

会長、太宰府天満宮の西高辻信良宮司のご挨拶のあと、来賓である、大阪府神社庁長の藤江正謹宮司・伊弉諾神宮の本名孝至宮司のご紹介がありました。

その後、全国天満宮梅風会副会長の橋重十九宮司の御発声により乾杯があり、会員相互の交友を深め、新

たな縁を結ぶ一夜となりました。最後は、大阪梅風会顧問、服部天神宮の加藤芳哉宮司の挨拶にて懇親会は

会長、太宰府天満宮の西高辻信良宮司の御発声により乾杯があり、会員相互の交友を深め、新

八代市史談会 西山宗因を訪ねて

当宮の連歌所宗匠

当日は協議会会長で小松島漁業協同組合の代表理事組合長である住村清一様ほか、徳島県大阪本部の方々が奉仕されました。

本殿では、住村会長が直垂を着装して、大前で「骨切り」調理を実演され、七種の神饌に次いで活け鰐が献進されました。

祭典後の直会では、七十名の参列者に鰐のつけ焼きが振る舞われ、みなさまは一足早く天神祭の味わいを感じていらつしやいました。

境内では、徳島の物産展も開催され、鰐のてんぷらを試食していただこうと五〇〇食余を準備されました

が、瞬く間に領布してしまったほどの大人気でした。

天神祭のお祭り料理といえば、鰐、白天（魚のすり身の揚げ物）、胡瓜、ざくざく（酢の物）ですが、食文化の欧米化とともに、これも知る人が少くなりつつあります。

徳島県の鰐は古くから関西一円で食されていたのですが、これもあまり知られていないのが現状です。そこで、徳島県では、「徳島の活鰐ブランド確立対策協議会」を設立して、販売促進活動を進めておられます。

例年八月には、天神橋筋商店街と當宮境内で盛大な「阿波踊り」が奉

行されました。

当宮の宗因碑

当宮には、宗因の句碑二基がありますが、一基は戎門をくぐつてすぐ右手に建てられています。



先ず十八時三十分より清興があり、伊弉諾神宮の本名宮司様の御厚意により、歌手であり小野八幡神社の権禪宜である涼恵様によるミニコンサートが行われました。

次に、十九時に全国天満宮梅風会の橋重十九宮司の御発声により乾杯があり、会員相互の交友を深め、新

たな縁を結ぶ一夜となりました。最後は、大阪梅風会顧問、服部天神宮の加藤芳哉宮司の挨拶にて懇親会は

会長、太宰府天満宮の西高辻信良宮司の御発声により乾杯があり、会員相互の交友を深め、新

死者の罪が赦されるよう願う行事も開催されました。それが中国仏教に取り入れられて、祖靈を供養する盂蘭盆会になったようです。しかし原始仏教には祖靈供養の習慣はありますませんので、盂蘭盆会は中国が起源といつていいでしよう。後に道教の中元と習合して一体化していくと考えられます。

この盂蘭盆会が日本に伝わってお盆の行事となり、江戸時代には、盆供（先祖への供物）と共に、商い先や世話になつた人に贈り物をすると

「上は やがてはよい習慣も忘れられていくような気がいたします。ちなみに、上元は元夕などと言いい取々の灯籠を灯して夜祭を行つたそうです。また、この日に小豆粥を食べると、その年の疫が避けられると言われば日本では、一月十五日は正月として小豆粥を食べる習慣が生まれました。

いる方や会社の上司などへ盆暮れに贈り物をする習慣は日本ならではのことですが、最近のお若い年代では、これも徐々に少なくなっているようです。

古く中国の道教の行事で三元といふものがありました。一月十五日の上元、七月十五日の中元、十月十五日の下元の総称です。『中元』には道故の行事としてミミズクな罪が取



『お中元』
よくあるお問い合わせ
? ? ?

いう慣れしかでき、この慣習を特に中元と呼ぶようになったのです。

第十七回



第十七回

二〇一〇年

卷之三

に眼に收まる。あるいはまた愁いを
引くようで言葉が出てこない、ただ
白雲は漠漠と天空を流れるのである

(通釈) 灵峰に心を奪われるよう^に高
樓に倚ると、清らかさは聳えるよう
流る。

清境聳然として両眸に收む。又愁心を引くも一語無く、白雲漠漠大空を

靈峰奪意倚高樓
又引愁心無一語
清境聳然收兩眸
白雲漠漠大空流

五月席題
流攝
山寺危亭
菅千鶴子
得尤韻

鳴き、春の良き風が浮き草を暖めて
いる。

早朝伸びをした。(自由人)。妻が茶を煮る煙がそよると動く中で、鳶が

白蘋を暖む

(訓読)雪解け梅香る 草舎の春
弊衣忽ち覚ゆ 一朝の伸ぶるを。茶
煙動く所 鶯声湿い、麗日の仁風

豊陽 荒木 英一 奈良市
雪解梅香草舍春 弊衣忽覺一朝伸
茶煙所動鶯聲濕 麗日仁風暖白蘋



五月二十
八日、守口
市南寺方御
藏会の地車
(だんじり)
が、昨年の
新調を記念
して当宮に
宮入しまし
た。
当宮の御
祭神である

境内には、多くの参拝者も訪れ、
南寺方・太鼓中・地車講・参拝者が
一体となり、道真公の御前で、盛大
に宮入が斎行されました。

享保年中の当宮の天神祭宵宮には
八十台を超える地車が先を争つて當
宮に宮入していたそうです。

地車囃子が賑やかに鳴り響く境内
で、ふと往事のことがしのばれまし
た。



<p>御宸題は「野」と言う事で、詠物の形で詠んで貰いました。</p>
<p>一月課題　御題　野</p>
<p>鵬城　北野　修司　大阪主</p>
<p>蝶蝶穿花舞　蜻蛉點水輕</p>
<p>春江堤上路　昨夢踏青清</p>
<p>(訓読)蝶々は花を穿つて舞い、蜻蛉は水に点じて軽し。春江堤上の路を昨夢踏青清し。</p>
<p>(通釈)蝶々は花を穿つて舞い、蜻蛉は水に点じて軽し。春江堤上の路を昨夢踏青を踏んで清らかなり</p>
<p>二月席題　梅花芳信</p>
<p>苔菴　揚田　崇徳　得虞娘</p>
<p>梅園殘雪裏　芳信有還無</p>
<p>可識南枝發　欣欣一酒徒</p>
<p>(訓読)梅園には残雪があり、芳信は有った。梅の樹の南向きから花が咲く、欣欣たり一酒徒。</p>
<p>(通釈)梅園には残雪があり、梅の花の便りはあるのか無いのか、ここぞとや還た無きや。識るべし 南枝發</p>

五月二十 打ち鳴らす地車講の皆さまが、南寺

旧川崎東照宮神輿の展示

徳川家康を祀る日光東照宮（栃木県）は、家康の一周年にあたる元和三年（一六一七）四月一七日に創建され、その後、全国各地に五〇〇余の東照宮が分祀されました。

それらの中でも最も早い分祀が大坂の川崎東照宮でした。同宮も家康一周忌に、大坂城主・松平忠明（家康の外孫）によって創祀されたのです。豊臣頃の大坂町人を幕府政権になびかせる意図もあつたのでしょう。鎮座地は、現在の造幣局・滝川小学校付近でした。同校前には「川崎東照宮跡」の碑が建っています。

同宮の「權現祭」は、毎年四月・九月の一七日に行われ、「浪華隨一」の紋日（祭日）と謳われましたが、江戸幕府が倒れてまもなく、明治六年に廃社となりました。大坂町人の徳川嫌いと無関係ではなさそうです。

廃社のあとも、旧幕臣たちは「葵俱楽部」を結成して再興を図りましたが果たせず、昭和九年（一九三四年）に、「東照公鳳輦（神輿）」、「鳳輦庫（神輿藏）」、松平忠明奉納の「石灯籠」などが当宮に寄進されました。



同宮の「權現祭」は、毎年四月・九月の一七日に行われ、「浪華隨一」の紋日（祭日）と謳われましたが、江戸幕府が倒れてまもなく、明治六年に廃社となりました。大坂町人の徳川嫌いと無関係ではなさそうです。

廃社のあとも、旧幕臣たちは「葵俱楽部」を結成して再興を図りましたが果たせず、昭和九年（一九三四年）に、「東照公鳳輦（神輿）」、「鳳輦庫（神輿藏）」、松平忠明奉納の「石灯籠」などが当宮に寄進されました。

同宮の「權現祭」は、毎年四月・九月の一七日に行われ、「浪華隨一」の紋日（祭日）と謳われましたが、江戸幕府が倒れてまもなく、明治六年に廃社となりました。大坂町人の徳川嫌いと無関係ではなさそうです。

- 1、日時
平成二十九年八月二十七日（日）午後一時～午後五時
- 2、会場
大阪天満宮 天満宮会館
- 3、『文化と歴史』

講演

- (1) 一時十分～二時三十分
「古事記における妻問いと
嫉妬の物語」
谷口雅博先生
- (2) 二時四十分～四時
「求婚と嫉妬—葵の上・
六条御息所・紫の上—」
國學院大學文学部
豊島秀範先生
- (3) 四時十分～四時五十分

國學院大學夏期講座のご案内

対談

豊島秀範先生 谷口雅博先生

例年、八月に当宮にて、國學院大

学院友会大阪府支部主催のもと開催

しております、「國學院大學夏期講

座」ですが、本年は八月二十七日（日）に開催することとなりましたので、お申込み頂けます。どなたでもお知らせ申し上げます。どなたでもお申込み頂けますので、ご興味のあるかたはご参加ください。

〒530-0041
大阪市北区天神橋2-1-8
大阪天満宮社務所内

國學院大學夏期講座係
電話 06-6353-0025
FAX 06-6353-7692

佐兵衛は、文政三年（一八三〇）に堂島の質屋・明石屋九兵衛の子として生まれ、万吉と名付けられました。幼少時に父親が出奔したため、九歳から賭場荒らしによって、母と妹との生計を助けたといいます。その後、一一歳で任侠の世界に入ります。幕末の動乱期には「勤王論」に共鳴して、桂小五郎を助けたとも伝えられています。

維新後は、米相場で資産を蓄え、明治六年（一八七三）には府知事の依頼で「消防頭取」に就き、「大阪

右のように実に幅広く活躍しています。◆当宮との関わり

銀二貫 大阪松竹座公演

去る、六月一日（木）～十一日（日）迄、大阪松竹座にて「銀二貫」が舞台公演されました。

「銀二貫」は平成二十一年に作家の高田郁さんが書かれた時代小説で、平成二十五年に大阪の本屋さんが選ぶ「大阪ブック1プロジェクト」で大賞を取つて以来、翌平成二十六年にはNHKでドラマ化、さらには二十七年には宝塚歌劇団にて舞台化されるなど、大変人気のある作品です。

この「銀二貫」は当宮を始め氏子地域を舞台とした作品です。江戸時代の大坂は天満組・北組・南組の行政区からなつていました。しかし、大坂を舞台とする小説は、北組・南組の船場を主舞台とすることが多く、大川以北の天満組はなかなか登場しません。高田さんは、そのような天満組を小説の舞台として選んでくださいました。

当宮は平安時代中期の天暦三年（九四九）年に創祀されて以来、度重なる火災に見舞われています。江

戸時代には、記録に残つてゐるだけでも七度の火災がありました。このような被災のたびに、地域の皆様に「うちの家よりも天満宮の再建が先や」という思いで、御寄進、御尽力をいたしました。

小説の冒頭では、天満の寒天問屋・井川屋和助が思わぬ仇討ち事件に出遭つたことから、安永六年に類焼した天満宮に寄進するつもりの銀二貫を拠出してしまい、改めて寄進銀を積み立てる事になります。その後、和助が銀二貫を寄進できたのは、寛政四年の再度の天満宮焼失を経た寛政二年（一八〇〇）のことでした。

小説の最終章は、和助が銀二貫を寄進するため天満宮を参拝する場面です。このとき「天満宮には再建の樋音が響いていた。来年には見事な社殿が完成するだろう」と高田さんは記されています。

事実、翌年の享和元年（一八〇二）四月五日には再建なつた御本殿に、御神体をお遷しする「正遷座祭」

和助は小説の中の架空の人物ではありますが、往時の天満宮は、和助のような氏子・崇敬者のお力によつて、度重なる火災にも負けず、支えられてきたのでしよう。そして、現在も、そのような皆様に支えていた神事に参列したことが当宮の日誌に記されています。この参列者の中には、きっと和助の姿もあつたことでしょう。

和助は小説の中の架空の人物ではあります。

あります。

あります。
</

ABC
def

巫女たちも英会話

GHI
jkl

奉納「太刀」一振

近年は当宮にも外国人の参拝が多くなってきました。三年後には、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、今後ますますインバウンドが増えると見込まれていますが、それに伴ない、神社への参拝者も増えることが予想されます。

先日も、外国からのお客様が、境内を不安げにウロウロとされている様子をお見掛けしました。しかし、そうかと思えば、授与所で「御朱印」を受けられている日本通の方もいらっしゃるなど、外国の方々も多種多様です。

日本について深く学んでから来された方もいらっしゃるようですが、全員がそだだというわけではありません。

そこで、海外より来られた方々に少しでも神社についてご案内ができるよう、月に二回程度ですが、巫女を中心に行会話を学んでいます。日本に来てよかったです、神社に来て新しい知識を得られた、その素晴らしさを知った、など思っていただけるよ

うに、努力をしたいと思っております。先生はウクライナの方で、五ヵ国語を話され、神社や日本の文化に変興味をお持ちです。神社本庁発刊の『神社に外国人がやつてきた』を教科書として習つております。

なかなか成果が現われず、先生に迷惑をかけておりますが、根気よく教えて頂いております。日本の方にも、外国の方にも当宮に訪れていただけるよう頑張ります。



五月十五日、大阪市東淀川区の寺内俊太郎様から、太刀一振を御奉納いただきましたので、ご報告いたします。



奉納 境内案内看板



ミナミ工芸は、大阪市大正区に本社を構え、創業以来、あらゆる看板を通じて社会に貢献できるよう、主に建物の表情を彩る「名称看板」を作製している会社です。

先日、当宮に参拝をなさった際に「参拝者に向けての案内がもう少しであれば、参拝者に気持ちよくお参りして頂けるのではないか」とお考えになつたそうで、この度、ご祈祷控え室前と駐車場内に看板を御奉納下さいました。

これまで、特に海外から来られる方が、靴を脱ぐ場所などがわ

からず靴を履いたまま参集殿等に上られたり、どこまで入つて良いのかわからず奥の方まで入つてありました。ミナミ工芸さんありがとうございました。この看板を置くことによつて、そういう問題も無くなりました。今後も、参拝者にお参りしやすい神社を目指し工夫を重ねていく所存です。

《銘》「瑞光」
《作》河内國平

てんまてんじん 第72号
平成29年7月20日印刷
平成29年7月25日発行
発行人 寺井種伯
発行所 大阪天満宮社務所
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-8
TEL 06-6353-0025
印刷所 木村印刷株式会社